



平和への願いは世界共通

世界遺産登録10周年記念講演会

「平泉の文化遺産」世界遺産登録10周年記念事業の閉会式を12月11日に平泉小体育館で開催し、閉会式に先立ち中尊寺の奥山元照貫首による世界遺産10周年記念講演会を行いました。

講演では、藤原清衡公が記した中尊寺建立供養願文の一文を参加者らとともに読み上げ「清衡公の平和への願いは、生きとし生けるもの全てに共通するテーマである」と説きました。



地元の応援を力に

釜石シーウェーブスRFCが表敬訪問

釜石市を本拠地として活動するラグビーのクラブチーム釜石シーウェーブスRFCの須田康夫ヘッドコーチ(写真右端)らが当町を訪れ、1月16日(日)に初戦を迎える、新シーズンの応援を呼び掛けました。須田ヘッドコーチは「東北から唯一の参加チームとして誇りを持って戦いたい。3月からホームゲームが始まるので応援お願いします」と話していました。



米納めの行列をお出迎え

骨寺村荘園中尊寺米納め

12月12日、かつて中尊寺の別当領となっていた「骨寺村(一関市巖美町)」の先人たちの営みや文化的価値を発信しようと第15回骨寺村荘園中尊寺米納めが、本寺地区地域づくり推進協議会の主催で行われました。平泉駅前では地元住民が甘酒などを用意し、米納めの行列67人を出迎え、道中の安全を祈念しました。その後行列は、中尊寺通りを過ぎて月見坂を登り中尊寺本堂へ無事に米俵などを運び届けました。



地域社会福祉の推進に貢献

国と県から民生委員児童委員表彰

全国民生委員児童委員連合会会長より、長年にわたり地域福祉向上に貢献があった千葉恵子さん(3区)、千葉由美さん(12区)、佐藤照子さん(14区)、鈴木良治さん(17区)、佐藤由吏さん(主任児童委員)が永年勤続功労者として表彰されました。また、県民生委員児童委員協議会会長からは、鈴木憲子さん(13区)、千葉茂樹さん(18区)が永年勤続功労者として表彰されました。佐藤謙一会長と受賞者7人が役場を訪れ、青木町長へ受賞の報告をしました。



児童の安全のため役立ててほしい

平野組が児童用防災ヘルメットを寄贈

総合建設業を運営している平野組(一関市)の須田光宏代表取締役社長が12月10日に役場を訪れ、町内小学校全児童数分の児童用防災ヘルメット345個を寄贈されました。

須田社長は「万が一の時、児童の安全確保のため役立ててほしい」と青木町長にヘルメットを手渡しました。寄贈されたヘルメットは、平泉・長島の両小学校に届けられます。



長島小が奨励賞を受賞

第8回全国小学校ラジオ体操コンクール

かんぽ生命が主催する第8回全国小学校ラジオ体操コンクールに長島小の保健体育委員10人が作品を応募し、奨励賞を受賞しました。

同大会へは、ラジオ体操だけでなく校内の活動の様子を動画にしたものを応募。参加した6年生の千葉絢士郎君(写真前列左から3番目)は「入賞できてうれしい。これからもラジオ体操を続けていきたいです」と喜びを語ってくれました。



伝統芸能の魅力を感じる

子どものための文化芸術鑑賞・体験支援事業

12月6日、平泉小学校体育館を会場に文化庁事業の「子どものための文化芸術鑑賞・体験支援事業」を開催。午前の部は中学3年生、午後の部は小学5・6年生を対象に一般社団法人喜多流職分会の皆さんを講師に能楽を体験しました。

参加した児童生徒たちは、能楽に関する講話や、狂言『柿山伏』、能『羽衣』の実演を鑑賞し、伝統芸能の魅力や楽しさを感じていました。